

2007年3月期中間期 決算説明会資料

2006年11月13日



スパークス・グループ株式会社
www.sparxgroup.com

決算説明会資料に関して

この資料は、スパークス・グループ株式会社の株主および関心を有する方への情報提供のみを目的として作成したものであり、当社の株式またはその他の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。

スパークス・グループ株式会社もその関連会社も、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述(これらは未監査のものです)の正確性、完全性、妥当性等を保証するものでなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれら依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。

ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。この資料の著作権はスパークス・グループ株式会社に属し、その目的を問わず、紙面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



内容

- ▶ 2007年3月期中間期の業績について
- ▶ 参考資料



2007年3月期中間期の業績について



2007年3月期中間期決算のポイント – (1)

- ▶ 運用資産残高に基づく残高報酬は、高い水準を維持した
 - グループ全体の運用資産残高は1兆8,212億円(2006年9月末現在)
 - ▶ スパークス・アセット(1兆3,304億円)、コスモ社(2,248億円)、PMA社(2,659億円)
 - 残高報酬は、87.8億円(前年同期比67.7%の増加)
 - 残高報酬料率(ネットベース)は、0.79%(前年同期比0.02ポイントの減少)
- ▶ 成功報酬は、60.0億円(前年同期比164.6%の増加)を達成した
 - 成功報酬対AUM付帯比率は、64.4%(前年同期比8.7ポイントの増加)
- ▶ 経常利益は、63.3億円(前年同期比70.2%の増加)を達成した
- ▶ 当期利益は、29.1億円(前年同期比49.7%の増加)を達成した



2007年3月期中間期決算のポイント – (2)

- ▶ 2006年6月20日より連結対象となったPMA Capital Management Limitedの中間期の業績は、
 - 残高報酬で、7.6億円の増加要因
 - 成功報酬で、21.2億円の増加要因
 - のれん償却費(販売費および一般管理費)が、7.2億円発生(2006年6月20日～30日の11日間の日割換算相当分および2006年7月～9月分)
 - AUM2,659億円(2006年9月末現在)が、SPARXグループAUMに追加されている



中間期 連結決算ハイライト

	2006年3月期		2007年3月期	
	中間期	通期	中間期	前年同期比
運用資産残高(AUM)平残 (億円)	10,588	13,116	19,697	+86.0%
営業収益 (百万円)	7,729	26,863	15,161	+96.2%
営業費用・一般管理費 (百万円)	3,944	10,462	9,021	+128.7%
営業利益 (百万円)	3,785	16,401	6,140	+62.2%
経常利益 (百万円)	3,724	16,280	6,338	+70.2%
当期利益 (百万円)	1,945	8,894	2,911	+49.7%
役職員数(期末:常勤) (人)	179	201	264	+47.5%
TOPIX(期末)	1,412.28	1,728.16	1,610.73	+14.1%



(注1) 上記表中の数字は、「前年同期比」を除き、単位未満を切り捨てて表示している。「前年比」は、小数点第1位以下を四捨五入して表示している。

(注2) 役職員数は、期末時点の人数。

(注3) 上記表中運用資産残高は、韓国子会社(Cosmo Investment Management Co., Ltd.)および香港子会社(PMA Capital Management Limited)の運用資産残高を含む。

各事業主体ごとの実績比較

(単位:百万円)

	2006年3月期		2007年3月期				
	中間期	通期	中間期		中間期	中間期	
	当社 + Cosmo	当社 + Cosmo	当社 + Cosmo	前年 同期比	PMA	当社 グループ 全体	前年 同期比
営業収益	7,729	26,863	12,272	58.8%	2,889	15,161	96.2%
残高報酬	5,236	12,582	8,014	53.1%	765	8,780	67.7%
成功報酬	2,268	13,764	3,880	71.0%	2,123	6,003	164.6%
その他	224	516	377	68.0%	-	377	68.0%
営業費用及び一般管理費	3,944	10,462	6,937	75.9%	2,083	9,021	128.7%
営業利益	3,785	16,401	5,334	40.9%	805	6,140	62.2%
経常利益	3,724	16,280	5,485	47.3%	852	6,338	70.2%
役員数(期末:常勤)	179	201	214	19.6%	50	264	47.5%

(注)上記表中の数字は、「前年同期比」を除き、単位未満を切り捨てて表示している。「前年比」は、小数点第1位以下を四捨五入して表示している。



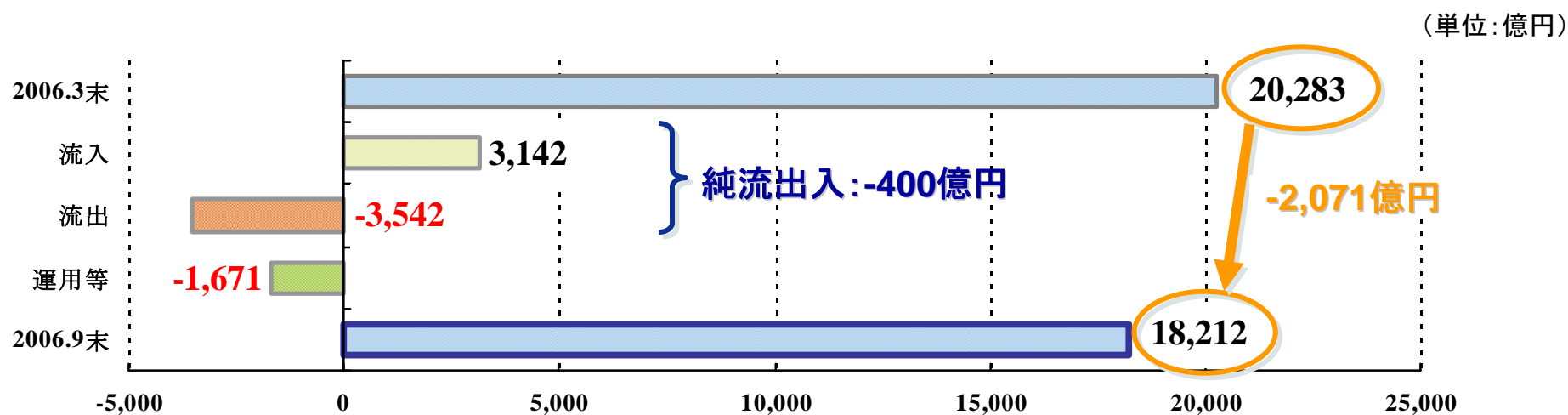
中間期 貸借対照表概要

	前中間期 (百万円)	当中間期 (百万円)	前年同期比
流動資産	32,103	33,661	+4.9%
現預金	24,468	15,733	-35.7%
固定資産	9,974	44,252	+343.7%
のれん	-	25,168	-
投資有価証券	8,377	17,286	+106.3%
(資産の部 合計)	42,078	77,913	+85.2%
短期借入金	-	14,500	-
社債	5,000	5,000	0.0%
(負債の部 合計)	9,082	27,429	+202.0%
資本金・資本剰余金	22,503	25,150	+11.8%
利益剰余金	12,905	20,128	+56.0%
自己株式	-3,003	-438	-
少数株主持分	208	1,659	+697.5%
(純資産の部 合計)	32,787	50,484	+54.0%



(注)上記表中の数字は、「前年同期比」を除き、単位未満を切り捨てて表示している。「前年比」は、小数点第1位以下を四捨五入して表示している。

資金流出入【2006年3月末～2006年9月末】



事業主体別	2006年3月末	流入	流出	運用・為替差 損益等	2006年9月末
当社	16,077	2,108	-3,095	-1,786	13,304
Cosmo社	1,711	693	-326	170	2,248
PMA社	2,494	341	-120	-55	2,659
当社グループ全体	20,283	3,142	-3,542	-1,671	18,212



(注1)上記表中の数字は、単位未満を切り捨てて表示している。

(注2) Cosmo社およびPMA社の「流入」、「流出」は2006年9月末レートで換算しているため、「運用等」には、2006年3月末と9月末の換算レートによる差額分が含まれている。

(注3) 2006年6月20日より連結対象となったPMA社の運用資産残高については、2006年3月末の残高に加えて、流出入を計算している。

当社投資戦略別：資金流出入【2006年3月末～2006年9月末】

(単位：億円)

投資戦略別	2006年3月末	流入	流出	運用・為替差 損益等	2006年9月末
当社					
日本株式ロング・ショート投資戦略	3,369	397	-409	-203	3,153
日本株式集中投資戦略	841	39	-2	-194	683
ファンド・オブ・ファンズ投資戦略	508	240	-22	-3	723
日本株式一般投資戦略	6,506	800	-1,968	-916	4,421
日本株式中小型投資戦略	2,948	534	-556	-355	2,570
日本株式バリュー・クリエーション投資戦略	1,860	96	-135	-113	1,708
日本株式未公開株式投資戦略	42	-	-	-0	42
合計	16,077	2,108	-3,095	-1,786	13,304



(注) 上記表中の数字は、単位未満を切り捨てて表示している。ファンド・オブ・ファンズ投資戦略の2006年9月末運用資産残高は、速報値を使用している。

営業収益 内訳

	2006年3月期		2007年3月期				
	中間期	通期	中間期		中間期	中間期	
	当社 +Cosmo	当社 +Cosmo	当社 +Cosmo	前年 同期比	PMA	当社 グループ全体	前年 同期比
残高報酬 (百万円)	5,236	12,582	8,014	53.1%	765	8,780	67.7%
料率(手数料控除後) (%)	0.81%	0.76%	-	-	-	0.79%	-0.02
成功報酬 (百万円)	2,268	13,764	3,880	71.0%	2,123	6,003	164.6%
対AUM付帯比率 (%)	55.7%	49.9%	58.4%	+2.7	100.0%	64.4%	+8.7
その他営業収益 (百万円)	224	516	377	68.0%	-	377	68.0%
営業収益 合計 (百万円)	7,729	26,863	12,272	58.8%	2,889	15,161	96.2%



(注)上記表中の数字は「前年同期比」「残高報酬・料率(手数料控除後)」を除き、単位未満を切り捨てて表示している。「前年同期比」については、小数点以下第2位を四捨五入して表示している。なお「残高報酬・料率(手数料控除後)(%)」と「成功報酬・対AUM付帯比率(%)」の「前年同期比」は変化率ではなく、単純な増減幅を表示している。

成功報酬 内訳

(単位:百万円)

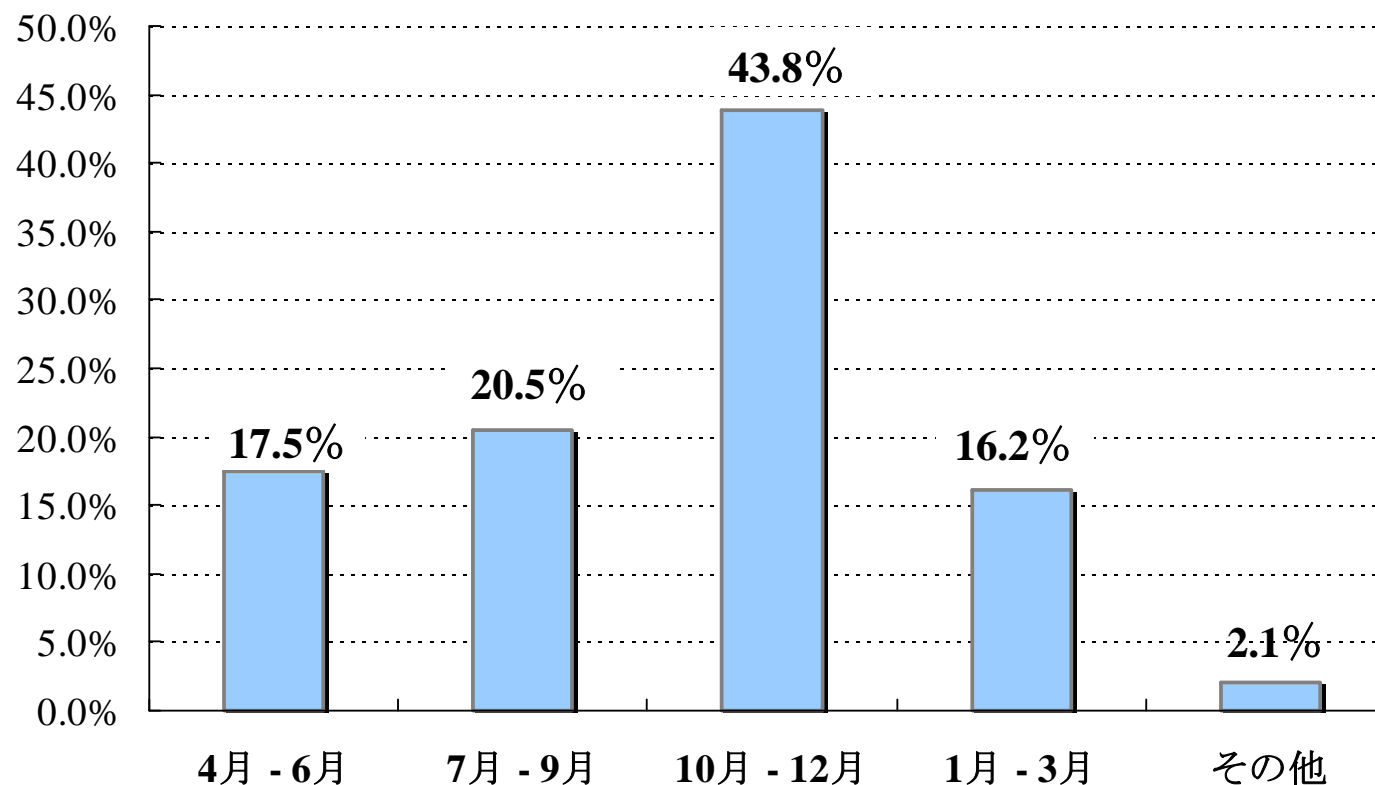
	2006年3月期		2007年3月期	
	中間期	通期	中間期	前年同期比
当社				
日本株式ロング・ショート投資戦略	1,722	9,355	1,789	3.9%
日本株式集中投資戦略	205	1,347	297	44.9%
ファンド・オブ・ファンズ投資戦略	10	301	66	510.3%
日本株式一般投資戦略	8	152	370	4363.9%
日本株式中小型投資戦略	5	143	3	-40.2%
バリュー・クリエーション投資戦略	275	1,361	680	146.9%
SPARX 合計	2,227	12,661	3,207	44.0%
Cosmo社				
Cosmo社 合計	40	1,102	672	1548.0%
PMA社				
PMA社 合計	-	-	2,123	-
当社グループ 合計	2,268	13,764	6,003	164.6%

(注)上記表中の数字は、「前年同期比」を除き、単位未満を切り捨てて表示している。「前年同期比」は、小数点以下第2位を四捨五入して表示をしている。



当社成功報酬の計算基準日の分布状況

運用資産残高(2006年9月末)に占める割合



(注1) 上記表中の「運用資産残高(2006年9月末)に占める割合」では、当社が運用する全てのファンド(「ファンド」とは、投資信託あるいは投資一任口座を指す。以下同様)を、成功報酬の基準日および支払いが確定する月ごとに分類し、その上で、当社の2006年9月末の運用資産残高に占める割合をグラフ化した。その際、①複数の支払時期があるファンドについては、該当ファンドの残高全てを各月に計上、②各月に重複して計上している分は、運用資産残高合計にも加算、③成功報酬がついていないファンドは、運用資産残高の合計から除外、という調整を行い、上記割合を算出している。尚、上記の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入し、表示している。

(注2) 上記の数字は、社内データ及び当社資料による概算値であり、正確性を保証するものではない。

(出所) スパークス・グループ(株) (2006年9月末現在)



経費 内訳

(単位は全て百万円)	分類	2006年3月期		2007年3月期	
		中間期	通期	中間期	前年同期比
支払手数料	営業費用	968	2,903	1,503	+55.2%
委託計算費	営業費用	89	195	130	+45.9%
その他	営業費用	162	387	236	+45.1%
人件費	一般管理費	1,429	4,151	4,276	+199.2%
うち 賞与引当金		500	-	1,167	+133.5%
旅費交通費	一般管理費	142	349	221	+55.0%
不動産賃借料	一般管理費	238	500	381	+59.6%
事務委託費	一般管理費	209	606	532	+154.4%
減価償却費	一般管理費	100	249	157	+56.3%
のれん償却費	一般管理費	32	61	725	+2111.1%
その他	一般管理費	569	1,055	857	+50.6%
営業費用・一般管理費 合計		3,944	10,462	9,021	+128.7%

(注1) 上記表中の数字は、「前年同期比」を除き、単位未満を切り捨てて表示している。「前年同期比」は、小数点以下第2位を四捨五入して表示をしている。

(注2) 上記表中の「人件費」には、派遣社員等に関する費用も含んでいる。

(出所)スパークス・グループ(株) (2006年9月末現在)、内部見積データ



グループ人員配置(常勤) 内訳

(注)括弧内の人数は、対2006年3月末比の増減人員数を示している。

	社長・監査 役・顧問	運用調査	営業	コーポレート	ファンド 管理	IT	リーガル&コ ンプライアンス	リスク・パフォー マンス管理	合計
スパークス・アセッ ト・マネジメント投信	3 (-1)	39 (-6)	22 (+5)	19 (+3)	8 (-1)	8 (-1)	7 (+2)	6 (+2)	112(+3)
スパークス証券	2 (+2)	0	14 (+1)	4	0	0	1	0	21 (+3)
スパークス・キャピタル・パートナーズ	0	3 (+1)	0	2	0	0	0	0	5(+1)
米国子会社	0	0 (-1)	8 (+1)	5 (-1)	2 (-1)	4 (+1)	2 (-1)	0	21 (-2)
英国子会社	0	0	5 (+1)	2	2	1 (+1)	2	0	12 (+2)
香港子会社	0	4 (+1)	1	2	4 (+2)	0	2	0	13 (+3)
韓国子会社 (Cosmo Investment Management Co., Ltd.)	0	15 (+1)	4(+1)	3	6 (+1)	1	1	0	30 (+3)
香港子会社 (PMA Capital Management Limited)	0	20 (+20)	5 (+5)	7 (+7)	9 (+9)	5 (+5)	1 (+1)	3 (+3)	50 (+50)
合計	5 (+1)	81 (+16)	59 (+14)	44 (+9)	31 (+10)	19 (+6)	16 (+2)	9 (+5)	264 (+63)

(出所) スパークス・グループ(株) (2006年9月末現在)

うち、ファンドマネージャー7名、アナリスト16名、トレーダー 4名、その他12名

基礎収益力

残高報酬(手数料控除後)のみで確保できる経常的な利益は、どのくらいか？

		2006年3月期	2007年3月期
		通期	中間期(12ヶ月換算)
AUM平残	(億円)	13,116	19,697
残高報酬料率 (手数料控除後)	(%)	0.76	0.79
残高報酬 (手数料控除後)	(百万円)	9,968	15,560
経常的経費	(百万円)	5,395	8,333
基礎収益	(百万円)	4,573	7,226
役職員数(常勤)	(人)	201	264



(注1) 上記表中数字は単位未満を切り捨て表示している。「残高報酬」は概算値として、残高報酬料率からの年換算値を表示している。

(注2) 「経常的経費」とは①支払手数料全額、②実績賞与(賞与引当金繰入含む)、③のれん償却費の合計を営業費用・一般管理費の合計から控除した費用の合計を指し、2007年3月期中間期の「経常的経費」については、当該中間期の経常的経費を基に、12ヶ月換算した数字を用いている。

(注3) 「役職員数」は非常勤役職員を含まない。

参考資料



当社運用資産残高 (AUM) 属性と海外投資家比率

	2005年 6月末	2005年 9月末	2005年 12月末	2006年 3月末	2006年 9月末	
					9月末	構成比
投資信託委託業 (単位: 億円)						
国内公募投信	851	868	1,119	1,236	1,075	8.1%
国内私募投信	1,468	1,623	1,805	1,733	1,592	12.0%
投資顧問業 (単位: 億円)						
個別口座 (国内顧客)	984	1,193	1,488	1,609	1,674	12.6%
個別口座 (海外顧客)	3,346	4,461	5,555	7,010	4,703	35.4%
スパークス設定海外籍ファンド	2,575	3,167	4,026	4,325	4,159	31.3%
投資助言契約	89	125	153	161	99	0.7%
合計	9,314	11,440	14,149	16,077	13,304	100.0%
海外投資家比率 (単位: %)	56%	59%	59%	63%	56%	



(注1) 上記表中の数字は、単位未満を切り捨てて表示している。なお、2006年9月末の構成比に関しては、小数点以下第2位を四捨五入し表示している。

(注2) 「スパークス設定海外籍ファンド」とは、当社グループの海外子会社により運営されているファンドを指す。

(注3) 上記「海外投資家比率」は小数点以下第1位を四捨五入し、単位を%で表示している。また、上記の数値は社内の概算値を表示しており、正確性を保証するものではない。

(注4) 上記表中において、韓国子会社 (Cosmo Investment Management Co., Ltd.) および香港子会社 (PMA Capital Management Limited) の運用資産残高は、含まれていない。

当社主要投資戦略 計測開始日来自リターン

(年率換算)

(コンポジット計測開始日～2006年9月末)

	日本株式 一般(合同口)	日本株式 中小型	日本株式 ロング・ショート (ドル建、Lev.2)	日本株式 ロング・ショート (円建、Lev.1)	日本株式 集中投資	日本株式 VCI (ドル建)
コンポジット	16.5%	9.8%	19.0%	6.4%	8.9%	35.8%
参考インデックス値	2.2%	6.9%	5.5%	2.0%	2.8%	25.1%
超過リターン	14.3%	2.9%	13.5%	4.4%	6.1%	10.7%

参考インデックス	TOPIX配当込	ラッセル野村日本株 スタイルインデックス・ミッド・アンド・スモール	TOPIX配当込 (ドルヘッジ)	TOPIX配当込	TOPIX配当込	TOPIX配当込 (ドルヘッジ)
計測開始日	97年5月	2000年1月	97年8月	2000年6月	99年7月	2003年2月
コンポジット・リターンのボラティリティ(年率)	24.2%	17.3%	11.9%	6.6%	23.3%	18.8%

(注1) 上記表中の数字は、当社で運用する主要な投資戦略のコンポジット・リターンを社内資料に基づいて作成した。表中の「参考インデックス」とは、相対比較のために便宜的に採用した指標であり、顧客から要請されているベンチマークとは限らない。

(注2) リターン算出基準は次の通り。「日本株式一般」「日本株式中小型」「ロング・ショート(ドル建、Lev.2)」「集中投資」については、修正ディーツ法・運用関連手数料控除前、「ロング・ショート(円建、Lev.1)」は基準価格法・運用手数料控除後、「VCI(ドル建)」は内部収益率・運用手数料控除前。また、上記数字は小数点以下第2位は四捨五入して表示している。

(注3) 「TOPIX配当込(ドルヘッジ)」は1ヶ月為替フォワード・レートで完全にヘッジされた場合のドル建のリターンを計算している。

(出所) スパークス・グループ(株) (2006年9月末現在)



当社コンポジット算出に関する追記

1. 各コンポジットはスパークス・グループ株式会社のグループ会社が運用するポートフォリオを対象としている。
2. 今回提示した各コンポジットの投資戦略の内容は以下の通りである。

コンポジットの名称	投資戦略の内容
日本株式一般(合同口)	合同運用を行う、日本の全上場・公開銘柄を投資対象とするアクティブ投資戦略
日本株式中小型	日本の中・小型株を主要投資対象とする投資戦略
日本株式ロング・ショート (ドル建、Lev2)	日本株に対するロング・ポジションとショートポジションの合計を純資産の2倍の範囲内として安定した絶対リターンを目標とするロング・ショート投資戦略
日本株式ロング・ショート (円建、Lev1)	日本株に対するロング・ポジションとショートポジションの合計を純資産の1倍の範囲内として安定した絶対リターンを目的とするロング・ショート投資戦略
日本株式集中投資	少数銘柄の日本株式に集中的に投資する投資戦略
日本株式VCI(ドル建)	コーポレート・ガバナンスの見地から日本株式に能動的に投資する投資戦略

3. リターンに関する追加情報(過去5年の年度別リターン)

	2002年3月期	2003年3月期	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期
日本株式一般(合同口)	-0.22%	-25.58%	78.05%	5.54%	60.69%
日本株式中小型	4.37%	-19.98%	70.25%	13.26%	44.34%
日本株式L/S(ドル建、Lev2)	9.68%	-6.41%	37.92%	2.36%	27.95%
日本株式L/S(円建、Lev1)	7.09%	-7.31%	27.76%	2.96%	18.90%
日本株式集中投資	-9.65%	-10.51%	53.23%	3.13%	48.94%

この資料は、スパークス・グループ株式会社の株主および関心を有する方への情報提供のみを目的として作成したものであり、当社の株式またはその他の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・グループ株式会社もその関連会社も、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述（これらは未監査のものです）の正確性、完全性、妥当性等を保証するものでなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。この資料の著作権はスパークス・グループ株式会社に属し、その目的を問わず紙面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社（スパークス・グループ株式会社の100%子会社）は、Global Investment Performance Standards (GIPS®)を遵守しています。Global Investment Performance Standards (GIPS®)への準拠の目的において、遵守主体である会社はスパークス・アセット・マネジメント株式会社、SPARX Overseas Ltd.、SPARX Investment & Research, USA, Inc. 及び SPARX International (Hong Kong) Limitedで構成されます。スパークス・アセット・マネジメント株式会社は、日本における投資顧問業登録、投資一任業務認可を有しています。

スパークス・グループ株式会社

郵便番号141-0032
東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー16F

Tel: 03-5437-9700 (代)